

2020年3月6日

生徒のみなさん

神戸大学附属中等教育学校

休業中のみなさんの学びについて

はじめに

突然の休業となり、集会等でみなさんにお話する機会をもつことができなかったので、このような形で連絡することにしました。

連日、新聞・テレビの報道やネットの情報を見ていると何だか落ち着かない気分になり、嫌な気持ちになってしまいますね。みなさんは大丈夫ですか。

私たちもみなさんのことを心配しているのですが、みなさんに何か不安なことや困っていること(勉強のこと・お友達とのこと・よく分からないけど落ち込んでしまうなど)があっても、(直接)会って相談することが難しい状況が続きます。ですから、何か困ったことがあって、家族にも相談できないような状況であれば、電話や緊急メール等で担任の先生や学年の先生(学校)に連絡をしてください。すぐに解決することは難しいかもしれませんが、お話を聞いて、みなさんと一緒に考えることぐらいはできると思っています。

また、このような状況なので、お友達とも直接会って話をするのが難しいと思います。いつも以上にSNS等を利用する機会が増えるかもしれませんが、言葉の行き違いや不用意な行動がトラブルに発展する可能性を十分に考慮して、賢く利用してください(SNSについては、デマの拡散など大人でも上手に使うことが難しいので、本当に気を付けてください)。

新型コロナウイルスの感染や感染拡大を防ぐために(いつもの生活を取り戻すために)私たちにできることはあまり多くはないのですが、いまのみなさんにとって大切なこと(必要なこと)を見失わずに、落ち着いて生活することを心掛けてください。

“学び”について

自分にとって必要な学びが何かを考えて、焦ることなくその学習に取り組んでください。“やらされる勉強”や“誰かに言われた通りにする勉強”ではなく、“主体的な学び”が今こそ大切です。学校や塾が休みになったことで、学習そのものの遅れに不安を感じている人もいますが、基本的には全国の中高生が同じ状況にあるので、焦る必要はありません。むしろ休業そのものよりもそれに伴う焦りや不安、イライラなどのために、普段やっていたことができなくなることの影響の方が大きいです。焦って新しい問題集を大量に購入したり、慌てて有料のオンライン学習支援サービスを利用したりしていませんか。確かに、突然、自由にできる(でも、外出はあまりできない)時間が生まれたので、これまでの学習に何かを加えたくなるかもしれませんが、みなさんの学力向上にとって大切なことは、新しいたくさんの知識を身に着けることだけではありません。これまで学んだことを確実に自分のものにして、様々な問題解決の場面でその知識や技能を活用できることもこれからはより重要になることを忘れないでください。いつもより時間は大量にあるかもしれませんが、学習面でこの学年末にするべきことは、いつもと変わりません。新たな知識の獲得ではなくて、今みなさんの手許にある教科書・問題集・参考書などのこれまで学習していた教材を利用して、これまでの学びの確認をして、知識や技能や思考力をより質の高いものにするのです。知識・技能の不足していた人は知識・技能を身に着けることを考えるべきですし、知識・技能のある人は思考力を高める(解き方を知っているから解ける・知らないから解けないという段階から

の脱却すること)を考えるべきですし、十分に知識・技能・思考力を身につけている人は未知の場面(問題)でそれらを活用することを考えるべきです。自分にとって必要な学びが何かを考えて、粘り強くそれに組み込んでください。

さらに、みなさんには、単なる教科学習に力を入れるだけではなく、新型コロナウイルスに関わって世界や日本やみなさんの身の回りで起こっている事柄について、できれば(しんどくならない範囲でかまいませんが)注意深く観察してみしてほしいと思っています。なぜなら、そうすることで、限られたマスク(やトイレットペーパー?)について起こっている事態と、限られた資源(水・食料・貴金属等)について将来起こるであろう(現に起こっている)事態との類似点に気づくことができるからです。

将来、みなさんが直面するこのような事態は「私だけが良ければ…」、「私の家族だけが良ければ…」、「私の会社だけが良ければ…」、「私の国だけが良ければ…」などの「私の〇〇だけが…」という観点だけでは解決することが困難であることは明白です。また、そもそも誰もが納得する1つの正解が存在するようなものでもありません。そして、私たちの学校はこういった問題(事態)に対して、多様な価値観を持った他者と協力して様々な観点から最善と思われる解決策を粘り強く追求し、実行する姿勢をもった人達を育てるための学校です。残念ながら私たち大人は、過去に起こった同様の事柄から何も学んではいなかったとしかいえない状況を生んでしまいました。保護者のみなさんも含めた私たち大人は、いま置かれている場所で最善を尽くしていきませんが、生徒のみなさんは現在進行している事態を見守り、「なぜ差別はなくなるのか」、「困っている人がいるのに、なぜ買い占めが起こるのか」、「未知のウイルスにどのように対処すればいいのか」、「どうすれば私たちは賢明に行動することができるのか」など、今回の事柄を通して思い浮かんだたくさんの「なぜ」や「どのように」や「どうすれば」について丁寧に考えてみてください。誰かが言っていたもっともらしい答えに飛びつくことは簡単ですが、みなさんには本当に自分が納得できる答え(あるのかわからないのかわかりませんが)を探究してほしいと思っています。なぜなら、そうすることは、みなさんの今後の学びや進路(職業)選択、生き方そのものに大きく関わってくるからだと思っています。

6回生のみなさんへ

改めて、卒業おめでとうございます。4月からの新生活の準備をしている人もいれば、進路実現のために努力を重ねている人もいます。3月がこのような形で始まるとは想像もしていませんでしたし、みなさんの4月がどのような形でスタートするのか想像もできませんが、本校で様々な経験を重ねた6回生のみなさんなら、きっと乗り越えてくれると思っています。とくに、国公立大学の後期日程など、進路実現のための受験を控えているみなさんは、落ち着いて学習に取り組んでください。予想もしていなかった事態ではありますが、これまでのみなさんの努力や時間が0になったわけではありません。最後の瞬間まで努力を重ね、みなさんの実力を発揮することが最も重要です。

なお、進路についてだけでなく、何か本当に困っていることや悩んでいることがあれば、(旧)担任の先生や(旧)学年の先生に連絡してもらえれば、相談に乗ることぐらいはできます。何はともあれ、みなさんの新しい生活がスムーズにスタートできることを祈っています。新生活が落ち着いたら本校にも遊びに来てもらえると嬉しいです。

7回生のみなさんへ

いよいよ進路が決定する学年が近づいています。英語の民間検定の導入見送りや大学入学共通テストの記述式問題の導入見送りなど、大学入学者選抜(大学入試)に関わる直前の変更が相次いだうえ、学年末

には休業となるなど、「なんでやねん！」と感じることが多いですね。けれど、忘れてほしくないことは「全国の高校2年生が同じ状況なので、どうなるのか誰にも分らないこれらの事柄については有利・不利は生じない」ということです。また、今回のことでこれまでみなさんが過ごしてきた時間や取り組んできた事柄がなくなるわけではありません。志望校へ合格するためには「慌てず焦らず諦めずに着実に基礎・基本を固めて、学力の向上に努める」ことが最も大切です。どうか、どうにもならないことに振り回されすぎずに、学習を含めたやるべきことに取り組んでください。学習を含めて何か困っていることやしんどいことがあれば、私たちがいることも覚えておいてください。

8回生のみなさんへ

兔原祭・修学旅行・体育祭・音楽祭と大きな行事が目白押しの1年ですが、私たちは5年生のこの1年は志望を固めるためにとても重要な時期だと考えています。忙しい1年になると思いますが、“将来やりたいこと”や“自分にとって大切にしたいこと”が何なのかをじっくりと考えてみてください。そして、それを実現するためにはどのような進路を選ぶべきなのかを考えて、それをお家の人や担任の先生に伝えられるようになってください。夢(志望)は明確に言語化することで、揺るがないものにすることができます。そして、それを実現するために、毎日をごそうとしてください。2年後の4月に“夢(志望)”を実現するためには“何となくの夢(志望)”から脱却し、そこに向けて着実に努力を積み重ねることが大切です。

9回生のみなさんへ

一部の科目ではすでに高校内容の学習に取り組んでいたと思いますが、4月からいよいよ後期課程が始まりますね。前期課程と後期課程では教務的には大きな違いがありますが、学習そのものについては、これまでの学びの延長線上にあるので、大きく変わることはありません。ただ、だからこそ、これまでの学びで不十分な点があれば、後期課程の学習を進めることが難しくなる可能性が高いです。まずは、基本的な知識や技能に抜けや漏れがないかを確認し、それらを補う学習に着実に取り組んでください。しっかりとした土台がなければ、知識や思考を積み重ねることはできませんし、土台がしっかりしていれば後期課程の学習について心配することはありません。

10回生のみなさんへ

4月から前期の最高学年となりますね。兔原祭・研修旅行・体育祭・音楽祭など、たくさんの場面で、これまで以上に“主体的かつ自律的”な行動がみなさんには求められると思います。基礎期のみなさんにとっての“あこがれの先輩”として充実した時間を過ごすことができるように、学習面については新年度が始まるまでに基本的な知識・技能を確実に定着させてください。もちろん難しいことをたくさん知っていることは決して悪いことではありませんが、それらを上手に組み合わせて(場合によっては他者と協力して)課題の解決を目指すことの方が大切だと思います。思考を深めるためには、その土台となる知識が強固であることが重要です。焦る必要はないので、必要な学習に着実に取り組んでください。

11回生のみなさんへ

4月から“先輩”となります。新1年生にとって“良い先輩”になれそうですか。新入生は学習面でも生活面でも部活動を含めた生徒会活動の面でも、一番身近な先輩であるみなさんの姿を見ていると思います。もちろん、誰かに“見られているから頑張る”ことは、少し違うような気もしますが、誰かにかっこいい姿を見せようと背伸びをすることで人は成長することもあります。この学校での初めての後輩を、

胸を張って、迎えられるように、目の前のやるべきことに全力で取り組んでください。そして、新年度に良いスタートができるように、学習については基礎・基本を大切にしてください。簡単(当然)だと思っ
ていることが実は難しい(当然ではない)というのはよくあることです。

最後に

みなさんが感染することのないように不特定多数の人が集まる風通しの悪い場所へ出かけることは控えてください。ただ、「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」の見解によると、喉の痛みや咳などの軽い風邪のような症状がない場合、屋外の活動や人との接触の少ない活動については今のところ感染リスクが少ないということです。運動不足やストレス解消のためにも、散歩やジョギングなどの運動を取り入れて規則正しい生活を心がけてください。もし、しんどくなったり、何か悩んだり・困ったりしたときは、お家の人や担任の先生、学年の先生に相談してください。

では、また、学校で会いましょう。